

デュアル・モード・ビークル



南阿蘇 DMV 導入実証実験

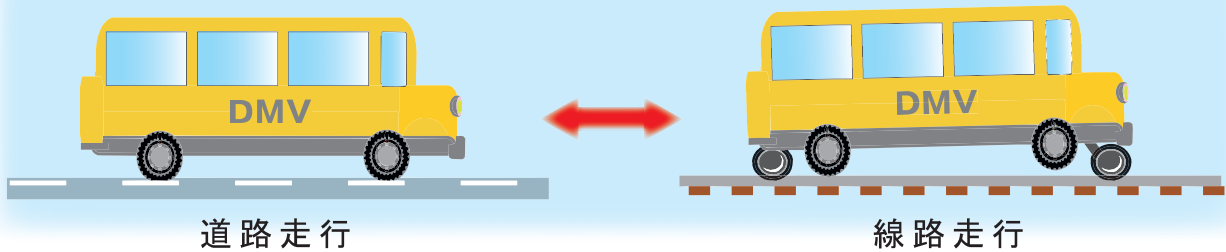
平成20年 3月20日~22日



熊本県DMV導入実証実験協議会

DMVとは・・・

DMVとはデュアル・モード・ビークル(Dual Mode Vehicle)の略称で、北海道旅客鉄道株式会社(JR北海道)が平成14年10月に開発に着手した線路と道路の双方を走行可能な乗り物です。定時性や速達性といった鉄道の持つ特徴と、道路をきめ細かく運行できるバスの特徴を併せ持つ、従来の概念を越えた新たな公共交通機関として期待を集めています。



南阿蘇地域で考えられるDMVの活用方法

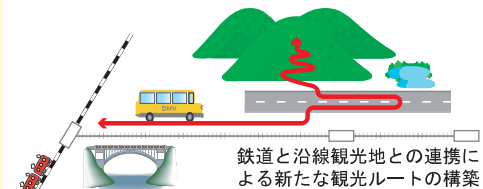
1. 観光の足として

現状



幹線道路等を中心に行楽シーズンの自動車の渋滞が課題となっているほか、一部の観光地では駐車場の容量を超える自家用車の流入による周辺道路の渋滞も課題となっています。一方、鉄道駅と鉄道沿線に点在する観光地を結ぶ公共交通網の整備が十分ではないため、鉄道やバスでのアクセスにも課題があると言われています。

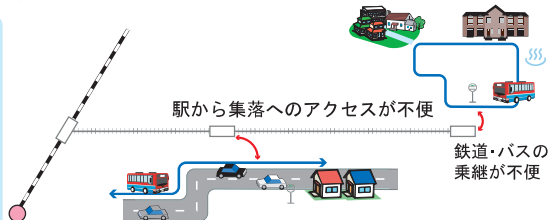
DMV導入後



DMVで鉄道と沿線観光地を結ぶことにより、公共交通を利用した観光の利便性向上が期待できるとともに、行楽シーズンの道路渋滞を回避することも可能です。また、自然豊かな南阿蘇鉄道の風景を楽しみながら沿線観光地の周遊を一体化することができ、新たな観光周遊ルート構築が期待できます。

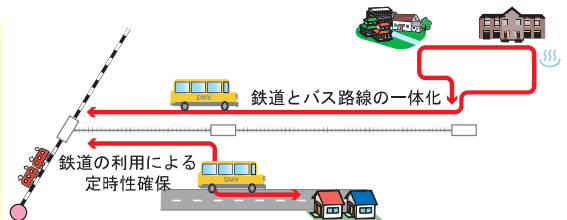
2. 地域の足として

現状



駅と集落が離れているために鉄道が利用しにくく、バスの本数も限られていることから自家用車による移動に頼らざるを得ない地域があります。しかしこのような地域において、高齢者や学生等の自家用車を運転できない人の移動手段の確保を考えていく必要があります。また、鉄道駅を起点に地域内を結ぶバスが運行されている地域では、乗換の必要や待ち時間などがあり、利便性を高める工夫が求められています。

DMV導入後



DMVで鉄道と沿線の集落を結ぶことにより、鉄道利用が可能な範囲を拡げることができるほか、道路の渋滞等の影響を最小限に抑えることが可能となり、定時性の向上が見込めます。また、鉄道と地域内のバス路線を一体化することにより、駅での乗り換えの必要がなく、集落や公共施設への足として活用できるようになり、公共交通の利便性向上効果も期待できます。

運行予定ルート

DMV運行ルート予定図



【観光周遊ルート】	①	高森 中松 草千里ヶ浜(阿蘇山) 第一白川橋梁 立野
	②	高森 中松 あそ望の郷くぎの 白川水源 高森
	③	高森 月廻り公園 高森 中松 白川水源 高森
【地域周回ルート】	④	高森中央 高森 中松 四季の森温泉 白水庁舎 高森中央
	⑤	高森中央 高森 中松 一心行公園 白水温泉 白水庁舎 高森中央

※3/22の第4便は高森駅前発着になります(高森中央〜高森駅前間は運転しません)

運行日	便名	ルート	道路走行区間	線路走行区間	道路走行区間
3月20日 (木・祝)	第1便	②	高森駅前発 9:05頃 高森駅発 9:15頃 中松駅着 9:30頃 高森駅前着 10:10頃	中松駅着 9:30頃 高森駅前着 10:10頃	
	第2便	①	高森駅前発 10:50頃 高森駅発 11:00頃 中松駅着 11:15頃 立野駅前着 12:55頃	中松駅着 11:15頃 立野駅前着 12:55頃	
	第3便	⑤	高森中央発 14:00頃 高森駅発 14:15頃 中松駅着 14:30頃 高森駅前着 15:10頃	中松駅着 14:30頃 高森駅前着 15:10頃	
	第4便	④	高森中央発 16:35頃 高森駅発 16:50頃 中松駅着 17:05頃 高森中央着 17:35頃	中松駅着 17:05頃 高森中央着 17:35頃	
3月21日 (金)	第1便	②	高森駅前発 9:05頃 高森駅発 9:15頃 中松駅着 9:30頃 高森駅前着 10:30頃	中松駅着 9:30頃 高森駅前着 10:30頃	
	第2便	②	高森駅前発 10:50頃 高森駅発 11:00頃 中松駅着 11:15頃 高森駅前着 12:30頃	中松駅着 11:15頃 高森駅前着 12:30頃	
	第3便	③	高森駅前発 13:00頃 高森駅発 14:15頃 中松駅着 14:30頃 高森駅前着 15:20頃	中松駅着 14:30頃 高森駅前着 15:20頃	
	第4便	④	高森中央発 16:35頃 高森駅発 16:50頃 中松駅着 17:05頃 高森中央着 17:35頃	中松駅着 17:05頃 高森中央着 17:35頃	
3月22日 (土)	第1便	②	高森駅前発 9:05頃 高森駅発 9:15頃 中松駅着 9:30頃 高森駅前着 10:30頃	中松駅着 9:30頃 高森駅前着 10:30頃	
	第2便	①	高森駅前発 10:50頃 高森駅発 11:00頃 中松駅着 11:15頃 立野駅前着 13:00頃	中松駅着 11:15頃 立野駅前着 13:00頃	
	第3便	①	高森駅前発 14:05頃 高森駅発 14:15頃 中松駅着 14:30頃 立野駅前着 15:45頃	中松駅着 14:30頃 立野駅前着 15:45頃	
	第4便	④	高森駅前発 16:40頃 高森駅発 16:50頃 中松駅着 17:05頃 高森駅前着 17:35頃	中松駅着 17:05頃 高森駅前着 17:35頃	

観光周遊ルートでDMVが経由する主なスポット

【白川水源】



毎分60tといわれる清水が湧く水源です。環境省の名水百選をはじめ「くまもと緑の百景」にも選定されています。

【月廻り公園】



新熊本百景の第一位に選ばれた景勝地で、雄大な阿蘇五岳をバックに、広大な芝生のなかで大自然が楽しめます。

【草千里ヶ浜(阿蘇山)】



直径1kmの円形の草原で、もともとは火口だったところです。草原の中には大きな池もあり、牛や馬が放牧されています。

【第一白川橋梁】



白川渓谷にかかる、水面からレールまでの高さが約60mもある南阿蘇鉄道の鉄橋です。

【あそ望の郷くぎの】



阿蘇五岳の中岳の噴煙を正面に一望することができる位置にあり、農産物販売所、レストランなどがあります。

南阿蘇地域におけるDMV導入に向けた取組の背景

1. 九州新幹線開業に合わせた地域公共交通アクセス強化の必要性

熊本県においては、平成23年春に予定されている九州新幹線鹿児島ルート(博多～鹿児島中央間)の全線開業に伴う交流可能人口の飛躍的増加が見込まれる中、県内各地域の交流をこれまで以上に促進し、新幹線開業効果を波及させるためにも交通ネットワークの整備・強化を重要な課題と捉え、「新幹線くまもと創りプロジェクト」を推進しています。このうち、交通分野においては、「九州の拠点となる広域交通・情報網の確立」を基本戦略に据え、国内外からの交通アクセスの機能強化にこれまで以上に取り組み、新幹線を縦軸とした場合の「横軸交通アクセスの強化」(新幹線各駅と県内各拠点都市間の二次アクセス及び各拠点都市と主要目的地間の三次アクセスの改善)に向け、様々な施策を推進しています。



特に、熊本県有数の観光地である阿蘇地域においては、世界最大級の複式火山である阿蘇山(中岳)をはじめ多種多様な観光資源を有し、年間1,600万人以上の集客を誇っている一方で、観光スポットへのアクセス、とりわけ公共交通機関の整備状況・利便性が十分ではありません。このため、マイカー利用に制限がある県外等からの観光客のニーズに十分に答えられていないなど当該地域が持つポテンシャルを十分に発揮できていないと言われており、新幹線の開業に向けて当該地域の抜本的な公共交通の活性化が求められていると考えています。

2. 地域の生活交通の維持活性化の必要性

熊本県の公共交通、とりわけ地方部において運行している第三セクター鉄道や路線バスにおいては、モータリゼーションの進展等を背景として利用者の減少が続いており、将来的な存続が危惧される状況にあります。



一方で、今後、本格的な高齢社会を迎えるに当たった生活基盤として、更には、少子化・過疎化等によって失われつつある地域活力の掘りおこしの基盤として、公共交通の活性化を図り、将来にわたって維持していくことが重要な課題となっています。

このような背景を踏まえ、多様化する地域の輸送ニーズにきめ細かく対応した公共交通への転換を進める切り札として注目を集めているDMVIに着目し、地域の公共交通の活性化・再生の方策のひとつとして、その導入に向けて積極的に検討を行っていく必要があると考えています。

実証実験に至るまでの取り組み

平成18年度		「南阿蘇地域における新交通システム(DMV)導入による公共交通活性化に関する調査」(九州運輸局)により、DMVの特徴・課題の整理及び実証実験の実施に向けた概略検討がなされ、南阿蘇地域におけるDMV走行に関する一定の方向性が示される。	
	H19.4	熊本県DMV導入実証実験協議会を設置して、実証実験の実施に向けた取組みに本格着手	
	H19.5	<ul style="list-style-type: none"> 第1回協議会において、実証実験の実施に向け、関係機関が連携して取組を進めていく旨の方向性が確認される JR北海道に協力を打診し、担当者による現地確認がなされる 	担当者による現地確認の様子
	H19.8	<ul style="list-style-type: none"> 第2回協議会において、「南阿蘇地域におけるデュアル・モード・ビークル導入実証実験実施計画」を策定 国土交通省の「デュアルモードの導入促進に関する実証運行案件」に採択される 	
平成19年度	H19.9	DMVの走行環境整備に着手 (モードインターチェンジ整備、線路改修等の実施)	DMV走行環境整備
	H19.11	<ul style="list-style-type: none"> DMVが九州に初上陸 営業列車の運転終了後に夜間試験走行を実施 (2日間にわたり、10回の試験走行を実施) 	
	H19.12	JR北海道から夜間試験走行の結果が報告され、実証実験実施予定区間の線路上(高森駅～中松駅間)での走行に安全上の問題がないことを確認	
	H20.3.20 ～3.22	南阿蘇鉄道において実証実験の実施	夜間試験走行

発行・お問い合わせ： 熊本県DMV導入実証実験協議会事務局

(熊本県地域振興部交通対策総室)

〒862-8570 熊本市水前寺6丁目18-1

電話番号：096-333-2164